

2025年9月25日



「武蔵野鉄道開業110周年トレイン」 ヘッドマークデザインが決定！ 10月22日（水）より運行開始します！



- ✓ 全車両の中張り広告を沿線自治体のポスターでジャック！
- ✓ 10月26日（日）には、飯能駅から西武秩父駅までの特別運行を実施！

西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：小川 周一郎）では、池袋線の前身である武蔵野鉄道の開業110周年記念企画として、豊島区・清瀬市・所沢市・飯能市・横瀬町・秩父市および当社で構成される「西武線沿線サミット」と連携して募集していた「武蔵野鉄道開業110周年トレイン」ヘッドマークのデザインの採用作品が決定しました。採用されたデザインを掲出した「武蔵野鉄道開業110周年トレイン」が、2025年10月22日（水）から約1か月間運行します。

「武蔵野鉄道開業110周年トレイン」はヘッドマークデザイン掲出とともに、全車内の中張り広告が池袋線および西武秩父線にゆかりのある自治体（西武線沿線サミットおよび練馬区・西東京市・東久留米市・入間市）のポスターでジャックされます。沿線地域の魅力を存分に感じていただける特別仕様の車内空間をお楽しみください。

また、10月26日（日）には「よこぜ車両基地フェスタ2025～お酒とグルメとおまつりと～」の開催に合わせ、飯能～西武秩父駅間の特別運行を実施します。池袋線と西武秩父線をつなぐこの特別運行は、通常とは異なる運行区間を堪能できる貴重な機会です。

西武鉄道と沿線自治体で構成される「西武線沿線サミット」は、観光・文化・教育・産業・環境などの幅広い分野で連携し、西武線沿線の魅力を発信してきました。今回の取り組みを通じて、武蔵野鉄道開業110周年をさらに盛り上げていきます。

詳細は別紙のとおりです。



【別紙】

武蔵野鉄道開業110周年トレインについて

1. 武蔵野鉄道開業110周年トレインの概要

武蔵野鉄道開業110周年を記念して募集したヘッドマーク採用作品を掲出し、全車両の中張り広告を沿線自治体のポスターでジャックした特別仕様の電車を運行します。

- ① 運行期間：2025年10月22日（水）～約1カ月間（予定）
- ② 車 種：30000系（8両編成）
- ③ 運行区間：池袋線・豊島線・狭山線・西武秩父線（予定）
- ④ 注意事項：車両の運用状況により運行しない日があります。

※ 運行中の列車位置は「西武線アプリ」の列車走行位置画面でご確認いただけます。

西武線アプリの詳細はこちら <https://www.seibuapp.jp/railways/seibulineapp/>

2. ヘッドマークデザインについて



作者：岡橋 明さん（東京都小平市在住）

作者コメント：「武蔵野鉄道開業110周年記念事業に携われたことを光栄に思います。武蔵野鉄道の歩んできた歴史と、西武線沿線サミットに参加する6つの地域への想いを込めてデザインしました。」

※ 採用作品は1号車（飯能・西武球場前・豊島園方面）に掲出され、反対側の8号車（池袋・西武秩父方面）には記念ロゴマークを掲出します。

◀ 飯能・西武球場前・豊島園方面

池袋・西武秩父方面 ▶



今回の採用作品



記念ロゴマーク

3. 特別運行について

2025年10月26日(日)に開催される「よこぜ車両基地フェスタ2025～お酒とグルメとおまつりと～」に合わせて、「武蔵野鉄道開業110周年トレイン」が、通常は運行しない飯能～西武秩父駅間を1日限定で運行します。

- ① 運行日：2025年10月26日(日)
- ② 運行区間：飯能～西武秩父駅(池袋線・西武秩父線)
- ③ 運行時間帯：10時頃～16時頃
- ④ 注意事項：車両の運用状況により運行しない場合があります。

※ 運行中の列車位置は「西武線アプリ」の列車走行位置画面でご確認いただけます。

西武線アプリの詳細はこちら <https://www.seibuapp.jp/railways/seibulineapp/>

※ 「よこぜ車両基地フェスタ2025～お酒とグルメとおまつりと～」についてはこちら https://www.seiburailway.jp/newsroom/news/20250925_yokozeffesta/

【参考】武蔵野鉄道の歴史について

1915年4月15日に池袋～飯能駅間で開通した武蔵野鉄道は、現在の西武鉄道の本流とも言えます。東京に直通する鉄道の経営を目指し設立されました。1895年に川越(現：本川越駅)～国分寺駅間で開通した川越鉄道は東京へ向かうために国分寺で甲武鉄道と接続しましたが、武蔵野鉄道は池袋へ直行できたため、川越鉄道に大きな影響を与えました。

都市近郊鉄道として機能していた武蔵野鉄道は、1926年に開園したとしまえん(2020年閉園)へのアクセス路線である豊島線を翌27年に開業、また当時一大観光地として人気を博していた村山貯水池(多摩湖)・山口貯水池(狭山湖)への乗客誘致のために狭山線を1929年に開業しました。さらに石灰石輸送を目的に同29年に飯能～吾野駅間の営業を開始し、現在の池袋線にあたる区間が開業しました。

その後、旧西武鉄道(現在の新宿線のルーツにあたる路線)を合併し、1945年に西武農業鉄道が成立、翌46年に改称し西武鉄道となりました。

◇お客さまのお問い合わせ先

西武鉄道お客さまセンター TEL.(0570)005-712

音声ガイダンスのご案内により、メニューをお選びください。

[営業時間 9:00～17:00(12/30～1/3を除く)]

以上